SHARP

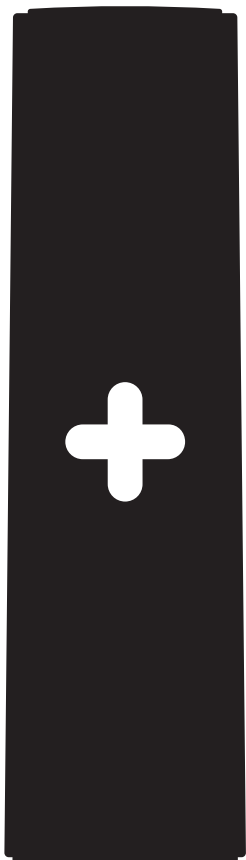
デジタルコードレス電話機

JD-S10CL / JD-S10CW

取扱説明書 保証書付

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※NTTへのサービス申し込みが必要です。（有料）

局番無しの 116番へ

「ナンバー・ディスプレイサービス」のご案内

ナンバー･ディスプレイって何？

ナンバー・ディスプレイは、かけてきた相手の電話番号が、電話に出る前に電話機などのディスプレイに表示されるNTTの提供するサービスです。また、留守中などで電話に出られなかった場合でも着信記録が残ります。（月額使用料及び工事費が必要です。）

かける人

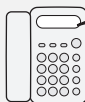
番号：
0312345678

①相手の電話番号をダイヤル

②発信電話番号を追加
0312345678

受ける人

ナンバー・
ディスプレイ
ご契約者

③発信電話番号を表示

0312345678

ナンバー・
ディスプレイ
対応の通信機器

下記のシンボルマークが目印です。

どうしたらサービスに入れるの？

NTTへの申し込みが必要です。

お申し込み・お問い合わせは

局番なしの **116番** へ

どうやって使うの？

本機は初期設定の状態でサービスを利用できるようになっていますので、**機器本体への設定操作は必要ありません。**
（そのままお使いいただけます。）

他にどんなことができるの？

ナンバー・ディスプレイサービスを使って、下記のような機能が使えます。

- ●留守中の着信を記録☞70～71ページ
- ●番号を通知しない電話をお断り☞74～75ページ
- ●特定番号のお断り☞76～77ページ

くわしくは68～85ページをご覧ください。

お知らせ

- ●構内交換機（PBX）やホームテレホンの内線電話機としてご使用になる場合や、各サービスに対応していないターミナルアダプターのアナログポートに接続してお使いになる場合は、ご利用になれません。サービス利用設定を「解除」にしてください（☞68ページ）。

子機操作早見表

電話をかける（☞34～35ページ）

子機を取って
ダイヤルする ▶ ▶ 通話が終わったら 、
または子機を戻す

電話を受ける（☞38～39ページ）

着信音が鳴ったら、
子機を取って ▶ 通話が終わったら 、
または子機を戻す

保留する（☞34、38ページ）

内線/クリア 保留 ／通話に戻るときは、もう一度 内線/クリア
、または

かけ直す（☞34～35ページ）

子機を
取って ▶ でかける
相手を選ぶ ▶ ▶ 通話が終わったら
、または子機
を戻す

電話帳でかける（☞36～37ページ）

※先に登録が必要です（☞46～47ページ）。

子機を取る ▶ でかける相手を選ぶ

▶ 第２番号の場合は、
で番号を選んで ▶ 通話が終わったら 、
または子機を戻す

着信音量を変える／鳴らさないようにする（☞28～29ページ）

▶ 「着信音量」を
選んで ▶ 「大」「中」
「小」「切」 いずれかを選んで

受話音量を変える（☞28～29ページ）

通話中に 押すごとに切替：４段階

もくじ

ご使用の前に

電　話

留守番電話

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

ご参考に

お手入れの簡単な、無接点充電方式

子機は、充電端子のない無接点充電方式です。
お手入れが簡単で、端子が汚れて充電できないといったトラブルもありません。

しつこいセールスなども簡単にお断り、迷惑電話拒否機能（☞78 ～ 81 ページ）

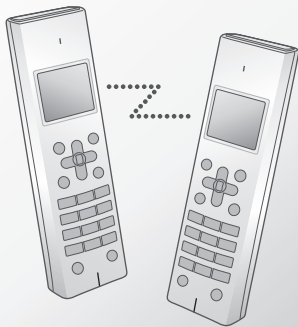
通話中の簡単なボタン操作で、来客があったようにチャイムを鳴らして電話を切りやすくしたり、お断りメッセージを流して電話を切ることができます。

デジタル方式採用で、聞き取りやすいクリアな通話

雑音の少ないデジタル通信方式による、
聞き取りやすい通話が特長です。

同時に話せる、双方向の子機間通話（JD-S10CW のみ）

（☞40 ～ 41 ページ）

子機同士の内線通話は、
同時にお話しできる
双方向タイプです。
どちらかが話し終わるのを
待つ必要がなく、
スムーズにお話しできます。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくための表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠**危険**	人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠**警告**	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠**注意**	けがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

■ 図記号の意味

してはいけない

しなければならない

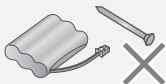
気をつける

⚠危険

<充電池の取り扱いについて>

充電池を使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となることがあります。

- 充電池は、当社の推奨品を使用してください。
- 充電池の端子は、プラス(+)とマイナス(−)を逆にして接続しないでください。
- 充電池は、子機以外の機器には使用しないでください。
- 充電するときは、親機または専用の充電器以外は使用しないでください。

- 端子のプラスとマイナスを金属類で接続しないでください。

- 金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 充電池を加熱したり、火の中へ投げ込まないでください。

- 充電池ふたを閉めるときは、充電池のコードをはさまないでください。

⚠危険

●充電池の液が目に入ったときは、失明することがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

<指定以外の電圧では使用しない>

●表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

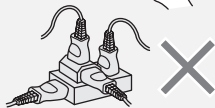
<ACアダプターや電源コードの取り扱いについて>

●付属品以外のACアダプターを使用すると、火災・事故の原因となります。

●コードが破損し、火災・感電の原因となることがありますので、次のような取り扱いはしないでください。

傷つける・無理に曲げる・
ねじる・加工する・
重い物を乗せる・
加熱する・引っぱる

●タコ足配線はしないでください。発熱により、火災の原因となることがあります。

●ACアダプターや電源コードを抜くときは、コード部分を引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

●コードが傷ついたとき（芯線の露出、断線など）は、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●濡れた手でACアダプターや電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●コードを熱器具に近づけないでください。コードの被膜がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

●コンセントへの差し込みがゆるくぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

＜雷が鳴りだしたら＞

●安全のため、早めにACアダプターや電源コードをコンセントから抜いておいてください。
雷によっては、火災・感電・故障の原因となることがあります。

＜充電池の取り扱いについて＞

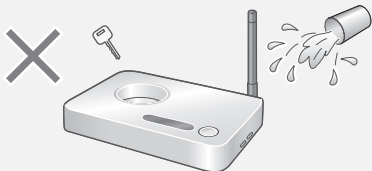
●充電池を水や海水につけたり、濡らしたりしないでください。充電池が発熱したり、サビの原因となることがあります。

●充電池のビニールカバーをはがしたり、キズをつけたりしないでください。充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となることがあります。

●充電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこすことがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠警告

＜内部に物や水などを入れない＞

●この電話機の内部に、金属類や燃えやすい物などを入れないでください。また、水や薬品などの液体をこぼさないでください。火災・感電の原因となることがあります。
ペットのいるご家庭では、ペットの尿にもご注意ください。

●風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●万一、内部に水や異物などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、子機の充電池をはずして販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

＜分解・改造しない＞

●この電話機を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。また、分解や改造は法律により禁止されています。

＜異常が起きたら＞

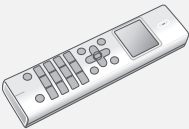
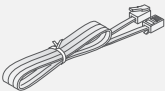
●万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、ACアダプターをコンセントから抜き、充電池をはずして販売店に修理をご依頼ください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

<持ち運びのとき>

●この電話機を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないでください。けがや故障の原因となることがあります。万一、この電話機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

<使用場所について>

●病院内などの使用を禁止された場所では、ご使用にならないでください。
電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となることがあります。

⚠注意

<充電器の取り扱いについて>

●親機の充電部や充電器の上に、コインなどの金属物を置かないでください。また、磁力線がでていますので、磁気に弱い物（キャッシュカードなどの各種磁気カード、通帳、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。やけど、けがの原因となります。
また、磁気に弱い物は使えなくなることがあります。

付属品の確認

親機：1	子機： JD-S10CLは各1、 JD-S10CWは各2。	ACアダプター （親機用）：1
	 （子機の背面は充電池ふたになっています）	 （EP-DS10）
充電池（子機用）： JD-S10CLは各1、 JD-S10CWは各2。	**子機用充電器 ： JD-S10CWのみ1**	**電話機コード：1**
 （A-002）		
取扱説明書（本書）：1 かんたん取り付けガイド：1		

お知らせ

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口（☞104～105ページ）までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

ご使用の前に知っていただきたいこと

■ ご使用に当たってのお願い

本品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。
ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は不要**となります。
くわしくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

■ 子機の電波について

子機は、2.4～2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です

移動体識別装置の帯域が回避不可能です。
変調方式：FH-SS方式　与干渉距離：80m
本機には、それを示すマークが貼付されています。

2.4FH8

本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、以下の機器や設備が運用されています。

- ●電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
- ●工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- ●特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- ●アマチュア無線局（免許を要する無線局）
  - ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  - ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局、または特定小電力無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、お客様ご相談窓口（☞104～105ページ）にご連絡ください。
- ●その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談窓口（☞104～105ページ）にご連絡ください。

■ ブランチ式（並列）に接続しないでください

一つの電話回線をブランチ式に接続しないでください。正常に動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、子機の着信音が鳴らなくなることがあります。

■ 傍受にご注意ください

子機を使っての通話は、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

■ 使用時のご注意

- ●音が聞こえにくくなるので、スピーカーの穴をふさがない。
- ●こちらの声が届きにくくなるので、マイクをふさがない。
- ●電話がかからなかったり、切れてしまうことがあるので、使用中に子機に衝撃を加えない。

■ 子機の使用範囲について

子機の使用範囲を確かめる
電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100mです（アンテナを立てた状態）。

親機と子機の間に、障害物のある場所では
マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や、構造に金属が使われている住宅、大型の金属製家具の近くなどでは、電波の届く距離が短くなります。

■電波干渉を防ぐために

電波干渉によって、雑音が入るなどの悪影響が出たり、他の無線機器に障害を与えたりすることがありますので、下記の機器からは、親機・子機とも約３m以上離してください。

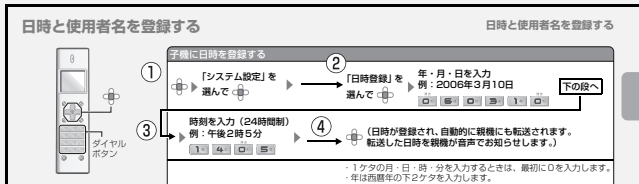
●電子レンジ　●無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
●ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）
●ゲーム機のワイヤレスコントローラー
●万引き防止システム（書店やCDショップなど）
●アマチュア無線局　●工場や倉庫などの物流管理システム
●鉄道車両や緊急車両の識別システム　●マイクロ波治療器
●その他、Bluetooth™対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

■雑音について

●磁気や蛍光灯などの電気雑音の影響を受けると、通話中に声がとぎれたり、通話できなくなることがあります。
●テレビ・ラジオなどの電気機器の近くに設置すると、雑音や受信障害の原因になったり、特定チャンネルでテレビ画面が乱れることがあります。また、AV・OA機器などの近くに設置すると、電波雑音の影響を受けて子機の呼出音が鳴らないことがあります。
これらの機器からは3m以上離すか、親機を別の電源コンセントに接続して操作してみてください。
●アンテナの近くに、ACアダプター・充電器・他の機器の電源コードなどを近づけると、声がとぎれたり聞き取りにくくなる場合がありますので、離してください。
●本機の近くに携帯電話の充電器やACアダプターを置くと､声がとぎれたり呼出音が鳴らないことがありますので、離してください。
また、親機や充電器とは別の電源コンセントに接続してください。
●親機のアンテナは垂直に立てた状態でお使いください。アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、電話の声がとぎれることが多くなります。
●動きながら通話したり、自動車やバイクが近くを通ると、声がとぎれたり雑音が入ることがあります。設置場所を変えてみてください。
●補聴器をお使いの場合、種類によっては通話中に雑音が入ることがあります。

取扱説明書の見かた

■操作説明の見かたについて

本書の操作説明で、見開きになっている箇所は、左ページの上の段（①）→右ページの上の段（②）→左ページの下の段（③）→右ページの下の段（④）と読み進んでください。

＜マルチファンクションキーおよび機能ボタンの表記について＞

マルチファンクションキー

お断り　文字切替/キャッチ

機能ボタン

左図のマルチファンクションキーを使った操作は、略図で示しています。

上を押すとき：　下を押すとき：

左右いずれかを押すとき：

機能ボタン（マルチファンクションキー中央部）を押すとき：

＜操作方法の例＞

操作説明と子機のディスプレイを見ながら、下記の例を参考に操作してください。

① を押し、 をくり返し押して、「システム設定」を選ぶ

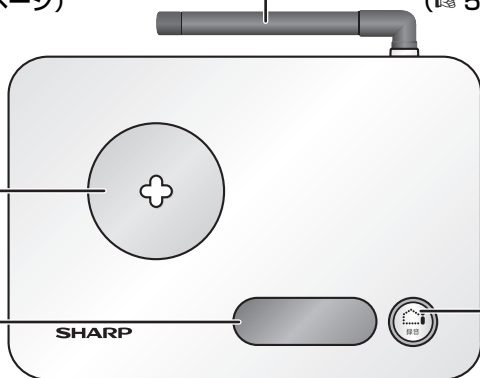
② を押す

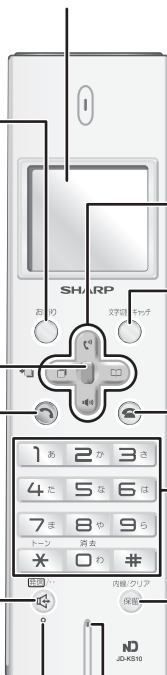
と表示されます。

③ を押し、時刻を入力する

④ を押して決定する

各部の名前とはたらき

親機

子機

ディスプレイ
(☞21ページ)
マルチファンクションキー
項目などを選ぶときは、このキーを使います。
本文中では、下記のように略図を使って説明しています。
上を押す：
下を押す：
左右いずれかを押す：
お断りボタン
(☞78、80ページ)
機能ボタン
本文中では、
と表記しています。
SHARP
お断り
文字切替 キャッチ
文字切替/キャッチボタン
(☞50、86ページ)
切ボタン
通話ボタン
(☞34～38ページ)
ダイヤルボタン
(☞34ページ)
トーン
消去
発信
内線/クリア
保留
内線/クリア・保留ボタン
(☞34、38、40～45、50ページ)
JD-KS10
マイク
スピーカーホン・濁点/半濁点ボタン
(☞34～35、38～39、50ページ)
ランプ
スピーカーホン通話中に点灯します。

子機背面・子機用充電器（充電器はJD-S10CWのみ）

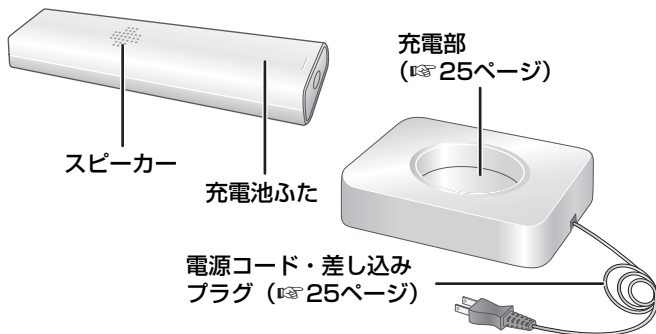
スピーカー

充電池ふた

充電部
（☞25ページ）

電源コード・差し込みプラグ（☞25ページ）

親機ディスプレイ

ND　　子機　迷惑電話　お断り　限定着信　件

ナンバー･ディスプレイを利用できるときに表示（☞68ページ）

子機を使用しているときに表示

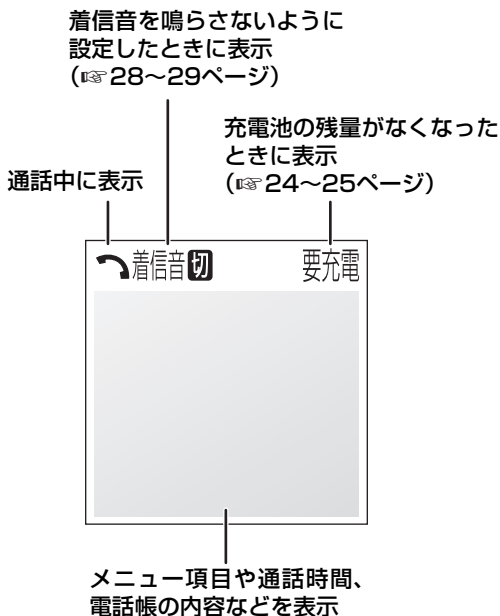
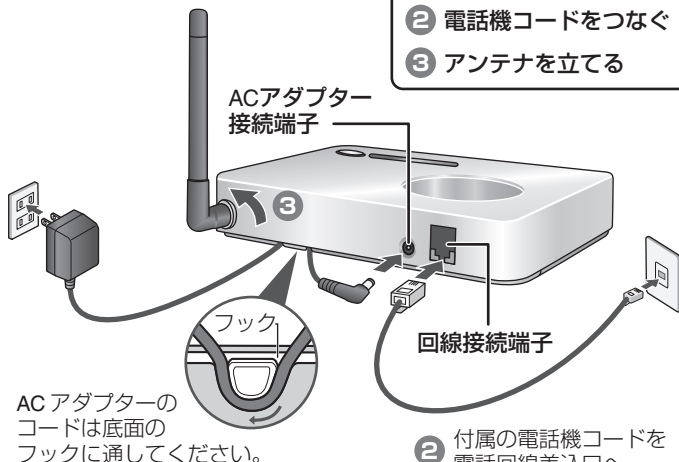
選んで着信機能を設定しているときに表示（☞82～85ページ）

留守録音の件数を表示

携帯とくとくダイヤル機能を設定しているときに表示（☞60～63ページ）

迷惑電話番号を登録しているときに表示（☞78～81ページ）

お断り番号を登録しているときや各種お断りを設定しているときに表示（☞74～77ページ）

子機ディスプレイ

着信音を鳴らさないように
設定したときに表示
(☞28〜29ページ)
充電池の残量がなくなった
ときに表示
(☞24〜25ページ)
通話中に表示
着信音切
要充電
メニュー項目や通話時間、
電話帳の内容などを表示

親機を接続する

親機を接続する

・アンテナは必ず立てて使用してください。
・電話機コードをつなぐと、「おまかせ回線設定」が働き、回線種別（電話回線の種類）を自動的に設定します（子機で「回線種別」の設定が「自動」になっているときのみ）。
・ACアダプターをつないでから「おまかせ回線設定」が終わるまでの間、画面表示と留守･録音ボタンのランプが点滅します。回線種別が設定されると止まります。

■ **手動で回線種別を合わせるときは**

10PPS回線をお使いの場合は、おまかせ回線設定では設定できません。また、お使いの状況によっては、おまかせ回線設定が正しく働かないことがあります。こんなときは、子機から次の方法で設定してください。

▶「システム設定」を選んで ▶「回線種別」を選んで

▶ **お使いの回線種別が分かっているとき**

「20PPS」「トーン」「10PPS」のいずれかを選んで

▶ **お使いの回線種別が分からないとき・もう一度自動で設定するとき**

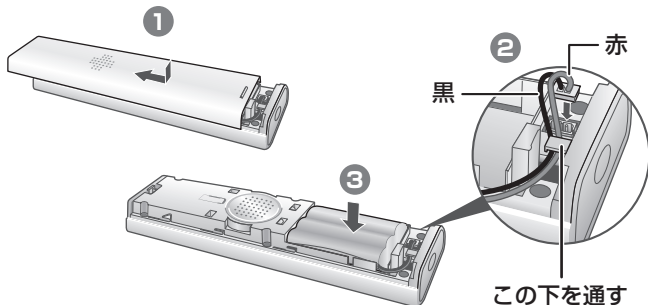
「自動」を選んで

お知らせ

●ACアダプターは、ファクシミリやOA機器などの電源と同じコンセントにつながないでください。混信や誤動作の原因となります。
●AC アダプターや親機の底面は多少あたたかくなりますが、異常ではありません。

子機を準備する

充電池をセットして子機を充電する

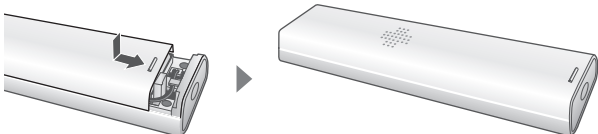
❶ 充電池ふたを上部へスライドさせ、取り外す
❷ 充電池のコネクタを接続する
❸ 充電池を入れる

⚠警告 **充電池のビニールカバーをはがしたり、キズをつけないでください。**
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

■ 通話時間について

いっぱいに充電された状態（10時間以上充電したとき）で、続けて通話できる時間は **約6時間** です。ただし、スピーカーホン通話をすると短くなります。
通話中に充電容量が少なくなると、「ピッピッ…」と警告音が鳴り、約1分後に通話が切れます。このときは、一度電話を切って充電してください。

- 子機の液晶画面に 要充電 が表示されたときは、子機を親機に戻し、10時間以上充電してください。一度 要充電 が表示されると、約10時間以上充電しないと消えません。

❹ 充電池ふたを取り付ける

❺ 親機または充電器の充電部に置いて充電する

❹

❺ 子機は前後どちらの向きに置いても充電できます。

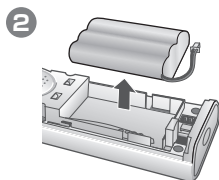
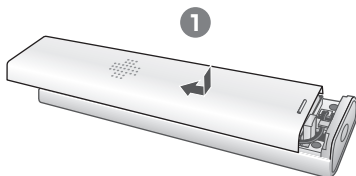
初めて使用するときは、
必ず **10 時間以上** 充電してください。

お知らせ

- JD-S10CWをお使いのときは、子機どうしが近付きすぎないようにしてください。電波が干渉して、着信音が鳴らなくなることがあります。
- 子機を使わないときは、いつも親機または充電器に戻してください。充電のしすぎで故障することはありません。
- 充電中は充電部や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。

充電池を交換する

子機の充電池は消耗品です。使用頻度にもよりますが、約2年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときは、新しい別売の充電池に交換してください（☞113ページ）。

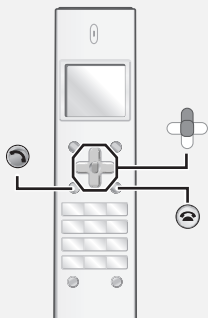
1. **充電池ふたを取り外す**
2. **古い充電池を取り外す**
   充電池を取り外すと、子機の日時の登録が消えます。
3. **新しい充電池を入れ、充電する**

3 **「充電池をセットして子機を充電する」（☞24～25ページ）の操作 2 ～ 5 で、新しい充電池を入れて充電する**

■ 充電式電池のリサイクルご協力お願い

充電式電池はニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルに出すときは、次のことにご注意ください。
  - ・（＋）端子と（－）端子にテープを貼る。
  - ・ビニールカバー（被覆・チューブなど）を剥がさない。
  - ・分解しない。

音の設定を変える

子機の着信音量や通話中に受話口から聞こえる音量を変えることができます。また、通話の音質を変える（低い音または高い音を強調する）ことができます。

子機の着信音量を変える／

 ▶ **「着信音量」を選んで**

・途中でやめるとき：

子機の受話音量を変える

通話中に **押すごとに切替：４段階**

・音量の設定は表示されませんので、音を聞きながら設定してください。

子機の通話音質を変える

通話中に　押すごとに「高い」「低い」「標準」

・通話を終了すると「標準」に戻ります。

■ ISDN、ADSL 、IP電話をご利用のときは

電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「回線調整」の設定を変更してください（☞64～65ページ）。

鳴らさないようにする

▶「大」「中」「小」「切」いずれかを選んで

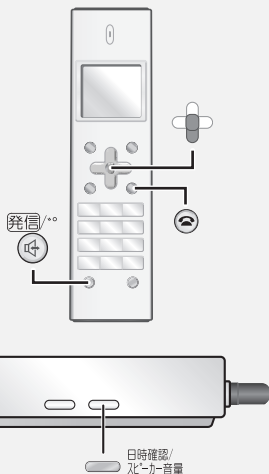
・はじめは「大」に設定されています。

（高音を強調する）
（低音を強調する）を切替

・ を押したときに、「高い」「低い」「標準」が表示されます。

お知らせ

- ●着信音量を「切」にすると、ディスプレイに 着信切 が表示されます。
- ●着信音量を「切」にしていても、内線通話の着信音は「小」の音量で鳴ります（JD-S10CWのみ）。
- ●通話音質を「標準」にすると、「ピピッ」と鳴ってお知らせします。

子機や親機のスピーカーから聞こえる音量を変えることができます。また、子機の着信音の種類を変えることができます。

子機のスピーカー音量を変える

押すごとに切替：4段階

・音量の設定は表示されませんので、音を聞きながら設定してください。

親機のスピーカー音量を変える

（スピーカーから音が聞こえているときに）

・音量の設定は表示されませんので、音を聞きながら設定してください。

子機の着信音の種類を変える

「着信音色」を選んで

・途中でやめるとき：

▶ 設定が終わったら ☎

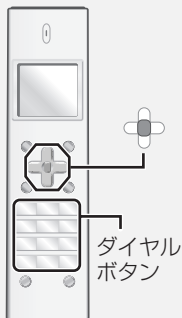
押すごとに切替：
４段階

▶

1. プルルル プルルル	6. ショートメロディ③
2. ポロロロ ポロロロ	7. ショートメロディ④
3. ピロン ピロン	8. ショートメロディ⑤
4. ショートメロディ①	9. ジムノペティ
5. ショートメロディ②	10. ジュピター

いずれかを
選んで

※曲名はディスプレイに表示されません。

日時と使用者名を登録する

■ **途中でやめるとき：**

■ **親機で日時を確認するには**
子機の日時を登録したあと、親機側面の 日時確認/スピーカー音量 を押します。音声で日時をお知らせします。

「日時登録」を選んで ▶ 年・月・日を入力
例：2006年3月10日

下の段へ

（日時が登録され、自動的に親機にも転送されます。
転送した日時を親機が音声でお知らせします。）

・1ケタの月・日・時・分を入力するときは、最初に0を入力します。
・年は西暦年の下2ケタを入力します。

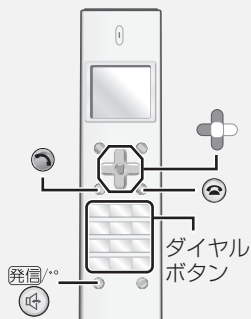
▶ 「使用者表示」を選んで

▶ 使用者名（最大6文字）を入力（☞50～53ページ）

▶

お知らせ

- ●停電になったときは、親機に転送されていた日時の登録が消えます。子機からあらためて登録してください。
- ●親機の電源が入っていないときは、登録することができません。

電話をかける・かけ直す

子機で電話をかける

子機を取って ダイヤルする ▶ ◯ ▶

子機を持たずに電話をかける

ダイヤルする ▶ 発信/ﾟ ▶

子機で電話をかけ直す

子機を取って ◯ ▶

・以前にかけた番号が、新しいもの から10件まで記憶されています。

■ 途中でやめるとき：◯

■ ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには

相手につながったあと、 を押してからダイヤルボタンを押すと、トーン信号（「ピッポッパッ」という音）が送られます。電話を切ると、自動的にダイヤル回線の信号（パルス信号）に戻ります。

■ 通話中にお待たせするには（保留）

内線/クリア 保留 ／通話に戻るときは、もう一度 内線/クリア 保留 、または ◯

通話が終わったら 、
または子機を戻す

（スピーカーホン通話）

通話が終わったら 、
または子機を戻す

（再ダイヤル）

 でかける相手を選ぶ ▶ ▶ 通話が終わったら 、
または子機を戻す

■ 通話の内容を録音するには

子機で通話しているときに、親機の操作で通話の内容を録音できます。
録音した内容は、子機で再生することができます（☞56〜57ページ）。
録音時間は、すべての録音を合わせて最大約10分、または59件までです。

子機で通話しているときに親機の （もう一度押すと録音終了）

■ 再ダイヤルを消去するときは

▶ 番号を選んで ▶ 「消去」を選んで （2回）

■ 再ダイヤルの記憶を電話帳に登録するときは

▶ 番号を選んで ▶ 「電話帳へ登録」を選んで

▶ 名前と第2番号を入力して電話帳に登録（☞46〜47ページ）

よく使う相手先を電話帳に登録（☞46〜47ページ）しておくと、簡単に電話をかけることができます。

子機の電話帳でかける

子機を取る ▶ でかける相手を選ぶ ▶ 第2番号の場合は で番号を選んで

子機の電話帳を検索してかける（読みを入力して検索）

子機を取る ▶ ▶「電話帳検索」を選んで ▶ 読みを入力（☞50〜53ページ）

・読みをすべて入力しなかった場合は、 を押すと、入力した読みにもっとも近い相手先が表示されます。目的の相手先とちがう場合は、さらに で選んでください。

■ 途中でやめるとき：

■ 25ケタ以上の番号をダイヤルするときは（チェーンダイヤル機能）

電話帳には、電話番号を最大24ケタまでしか登録できません。25ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておいて、電話をかけるときに続けて入力します。

子機を取る ▶ 電話帳から最初の番号を選ぶ ▶

▶ ▶ 電話帳から次の番号を選ぶ ▶

▶ 通話が終わったら、子機を戻す

通話が終わったら 、
または子機を戻す

第2番号の場合は
で番号を選んで
通話が終わったら 、
または子機を戻す

■ 読みの頭文字から検索してかけるときは

ダイヤルボタンを使って、行単位でおおまかに検索する方法もあります。

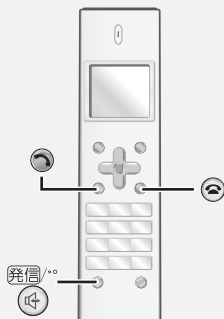
あ行	か行	さ行	た行	な行
1あ	2か	3さ	4た	5な
は行	ま行	や行	ら行	わ行
6は	7ま	8や	9ら	消去 0わ

子機を取る ▶

▶ ダイヤルボタンを押す（「いのうえ」を探すときは 1あ ）

▶ 目的の相手先とちがう場合は、 で選ぶ

▶ で番号を選んで ▶ 通話が終わったら、子機を戻す

電話を受ける

子機で電話を受ける

着信音が鳴ったら、
子機を取って

子機を持たずに電話を受ける

着信音が鳴ったら 発信

■ 着信音を止めたいとき：

■ 通話中にお待たせするには（保留）

内線/クリア 保留 ／通話に戻るときは、もう一度 、または

▶ 通話が終わったら ⊜ 、または子機を戻す

（スピーカーホン通話）

▶ 通話が終わったら ⊜ 、または子機を戻す

■ **通話の内容を録音するには**

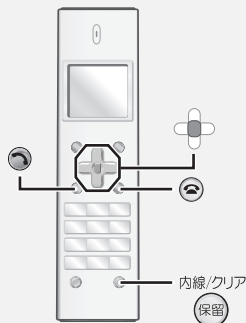
子機で通話しているときに、親機の操作で通話の内容を録音できます。
録音した内容は、子機で再生することができます（☞56〜57ページ）。
録音時間は、すべての録音を合わせて最大約10分、または59件までです。

子機で通話しているときに親機の

（もう一度押すと録音終了）

子機と子機の間でお話しする（内線通話）

子機と子機の間でお話しすることができます（JD-S10CWのみ）。

子機：内線/クリア 保留 ▶

呼び出された子機：着信音が鳴ったら、子機を取る

・どちらの子機からも通話をやめることができます。

途中でやめるとき：

親機から子機を呼び出すときは

子機のある場所が分からなくなった場合などに、親機から呼び出して着信音を鳴らして探すことができます。親機と子機の間で通話をすることはできません。

親機側面の 子機呼出 を押す ▶

子機の場所が分かったら、 を押して着信音を止める（親機の 子機呼出 を押して止めることもできます）

呼び出しは約2分経過しても自動的に止まります。

▶ 通話が終わったら ⊖ 、または子機を戻す

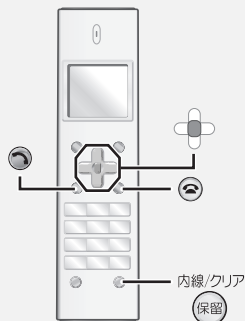
▶ ◎ ▶ 通話が終わったら ⊖ 、または子機を戻す

・相手の子機が電話に出るか、約 2 分呼び出しを続けると、自動的に呼び出しをやめます。

お知らせ

- 内線通話中に 発信/ を押して、スピーカーホンで通話をすることもできます。
- 内線通話の着信音色を変えることはできません。
- 子機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は「小」の大きさで鳴ります。
- 子機から親機を呼び出すことはできません。

子機2台と外の相手の3人で話す（3者通話）

子機2台と外の相手の3人で話すことができます（JD-S10CWのみ）。

呼び出された子機：着信音が鳴ったら、子機を取る

・呼び出された子機で を押しても、3者通話はできません。

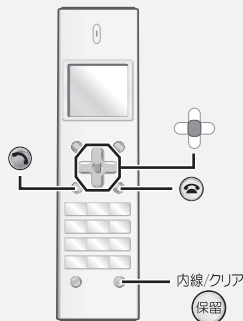
■ 途中でやめるとき：

呼び出した子機が を押したら、3者通話をする

通話が終わったら 、または子機を戻す

・子機のどちらかが通話をやめても、もう一方の子機は続けて外線と通話ができます。

子機と子機の間で電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

子機と子機の間で電話をとりつぐことができます（JD-S10CWのみ）。

子機と子機の間で電話をとりつぐ

子機：外線通話中に 内線/クリア 保留

呼び出された子機：着信音が鳴ったら、子機を取る

・子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。

途中でやめるとき：切

通話を自分ひとりで他の子機に転送したいときは

外線通話中に 内線/クリア 保留 ▶ ▶ 呼び出し中に 切 （外線転送）

▶ 呼び出されている子機を取って 通話 ▶ 外線と通話する

外線転送を開始してから30秒経過するか、呼び出された子機で 切 を押すと、呼び出し元の子機を再度呼び出します（コールバック）。
コールバックを30秒間そのままにしていると、電話が切れます。

▶ ▶ 電話をとりつぐことを伝えて 、または子機を戻す

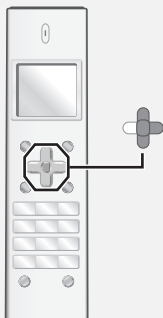
▶ ▶ 呼び出した子機が通話を切ったら、外線と通話する

・呼出中に外線通話に戻るとき：

お知らせ

●子機で「回線使用中」の表示が続いた場合は、親機のACアダプターを抜き差ししてください。

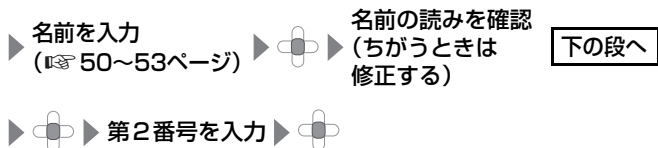
電話帳の登録・修正・消去

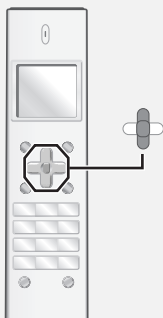
電話帳には、最大100件、１件あたり２つの番号を登録できます。
名前や番号の入力方法については、50～53ページをご覧ください。

■ **途中でやめるとき**：

■ **あらかじめ電話帳に登録されている番号について**
電話帳には、あらかじめ「≫時報」と「≫天気予報」の2件の番号が登録されています。

▶ 名前を入力
（☞50〜53ページ）▶ ▶ 名前の読みを確認
（ちがうときは
修正する） 下の段へ

▶ ▶ 第2番号を入力 ▶

▶「電話帳変更」を選んで ▶ 名前・読み・第1番号・
第2番号をそれぞれ修正 ▶

お知らせ

- 名前を入力しないで登録すると、名前が表示されるところに第1番号が表示されます。
- ナンバー・ディスプレイの名前表示（☞69 ページ）や着信鳴り分け（☞72〜73ページ）をお使いのときは、必ず市外局番から登録してください。
- 市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイの名前表示や着信鳴り分けが働かなくなることがあります。
- 着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます（☞71ページ）。

電話帳のデータを消去する

消去する相手先を選ぶ

■ 途中でやめるとき：

■ ポーズについて

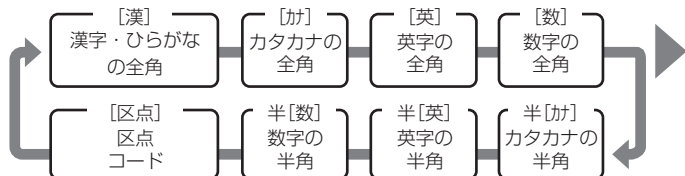
●電話番号の入力時に を押すと、約４秒間の待ち時間（ポーズ）を入力できます（連続して入力すると、２つ目以降のポーズは約２秒間になります）。

●ポーズを入力するのは、構内交換機から０発信するときだけにしてください。それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。

●ディスプレイには_（アンダーバー）で表示されます。

「消去」を選んで
（2回）

文字を入力する

■ 文字を消すには

内線/クリア 保留 を押すと、カーソルの合っている文字が消えます。カーソルが文字の上にないときは、1つ前の文字が消えます。

2秒以上押し続けると、すべての文字が消えます。

ダイヤルボタンで文字入力

・ボタンを押すごとに文字が切り替わります（[数]、半[数]では1ボタンにつき1文字）。
例：[漢]モードの 1あ の場合　あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ

・「あお」のように、同じ文字に割り当てられている文字を続けて入力するときは、文字を入力したあと、 を押してカーソルを移動させてから、次の文字を入力します。

■ 文字を入れ直すには
訂正したい文字を消去してから、あらためて入力してください。

文字入力一覧表

入力モード / 入力ボタン	全 角			
	ひらがな [漢]	カタカナ [ｶﾅ]	英字 [英]	数字 [数]
1 あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@ . ／ー＿	1
2 か	かきくけこ	カキクケコ	ABC abc	2
3 さ	さしすせそ	サシスセソ	DEF def	3
4 た	たちつてと っ	タチツテト ッ	GHI ghi	4
5 な	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL jkl	5
6 は	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO mno	6
7 ま	まみむめも	マミムメモ	PQRS pqrs	7
8 や	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	TUV tuv	8
9 ら	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	9
消去 0 わ	わ を ん ー □(スペース) 。 、	ワ ヲ ン ー □(スペース) 。 、	, : ! ? & ( ) [ ] □(スペース)	0
トーン ＊	無効			＊
＃	無効			＃
発信/゛゜	濁点／半濁点 ※2		無効	無効
（左右）	カーソル左右移動			
（上下）	かな漢字変換／カーソル上下移動			
内線/クリア 保留	1文字消去（2秒以上押し続けると、全ての文字を消去）			
文字切替/キャッチ	入力モード変換			

入力モード／入力ボタン	半　角			全　角
	カタカナ 半[ｶﾅ]	英字 半[英]	数字 半[数]	区点コード [区点]
1 あ	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@ . /-_	1	※1
2 か	ｶｷｸｹｺ	ABC	2	
3 さ	ｻｼｽｾｿ	DEF	3	
4 た	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	GHI	4	
5 な	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL	5	
6 は	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO	6	
7 ま	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS	7	
8 や	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	TUV	8	
9 ら	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ	9	
消去 0 わ	ﾜ ｦ ﾝ ｰ □(ｽﾍﾟｰｽ)	, : ! ? & ( ) [ ] □(ｽﾍﾟｰｽ)	0	
トーン ＊	無効		*	無効
＃	無効		#	無効
発信/゛゜	濁点／半濁点 ※2	無効	無効	無効
（左右キー）	カーソル左右移動			
（上下キー）	カーソル上下移動			
内線/クリア 保留	1文字消去 （2秒以上押し続けると、全ての文字を消去）			
文字切替/キャッチ	入力モード変換			

※1：
区点コードについては106～111ページをご覧ください。

※2：
濁点・半濁点をつけたい文字を入力した後に押してください。

留守番電話を設定する／解除する

相手の方の用件は、1件につき3分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大約10分間、または59件まで録音できます。

子機で留守番電話を設定する

 ▶「留守電設定」を選んで ▶「留守設定切替」を選んで

親機で留守番電話を設定する

を押して点灯させる （応答メッセージが聞こえます）

子機で留守番電話を解除する

 ▶「留守電設定」を選んで ▶「留守設定切替」を選んで

親機で留守番電話を解除する

を押して消灯させる

・親機で留守を解除すると、未再生の録音を再生します（ない場合は再生しません）。

■ 自分で応答メッセージを録音するときは（☞58～59ページ）

■ 留守設定を解除せずに留守録を聞くには（☞56～57ページ）

■ 応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を変えるときは

留守番電話の応答メッセージが流れるまでの、着信音の回数を変えることができます。

▶「留守電設定」を選んで ▶「留守応答回数」を選んで

▶「2回」「4回」「6回」「8回」「トールセーバ」いずれかを選んで

▶ 「設定」を選んで （応答メッセージが聞こえます）

▶ 「解除」を選んで

■「トールセーバ」とは

「トールセーバ」とは、外出先から電話をかけたとき、応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数で、新しい用件が入っているかを確認できる機能です。
4回目の呼出音が鳴った場合は用件が録音されていませんので、そのまま電話を切れば通話料はかかりません。

新規メッセージがあるとき：呼出音３回で着信
新規メッセージがないとき：呼出音５回で着信

■ ナンバー留守録について

ナンバー・ディスプレイを利用されている場合は、留守録音するときに、相手の方の番号と、留守録音された日時を録音します。
留守録音を再生すると、用件に加えて、番号と日時を確認できます。

録音されている内容を再生する

子機から留守録音や通話録音を再生するときの操作です。留守設定は解除されません。

子機で録音内容を再生する

▶「用件再生」を選んで（2回）▶再生が終わると

・未再生の録音があるときは、その録音のみ再生し、すべての録音が再生済みのときは1件目から再生します。

再生中にできる操作

再生を途中でやめる：再生中に

次の録音にとばす　：再生中に 6は

子機で録音内容を消去する

消したい録音の再生中に 消去 □わ **（2回）**

■ **途中でやめるとき**：

■ **留守ボタンの点滅について**

 は、新しい録音が入ると点滅します。点滅のしかたには、下記の2種類があります。

遅い点滅：通常の留守設定中に、新しい録音が入った場合

 を押すと、新しい録音を再生します。

速い点滅：留守設定していないときに、選んで着信（☞82～85ページ）での留守録音や、通話録音によって、新しい録音が入った場合

速い点滅のときは、留守設定されていません。 を2回押すと、新しい録音を再生します。

再生中の録音を聞き直す：再生中に 5な

1つ前の録音に戻す　　　：再生中に 5な を2回続けて押す

さらに戻すときは、5な を繰り返し押す（2回ずつ押すごとに1つ戻る）。

お知らせ

●一度聞いた不要な用件は消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、あらたに録音ができなくなることがあります。

自分で応答メッセージを録音する

留守番電話の応答メッセージを、自分で録音できます(オリジナルメッセージ)。
固定応答メッセージに戻すときは、「固定」に設定してください。

応答メッセージを録音する

子機を取る ▶ ◎ ▶ 「留守電設定」を選んで ◎

▶ 子機でメッセージを録音する(最大20秒) ▶ 録音が終わったら ◎

・メッセージを録音したあとは、自動的に「応答メッセージを設定する」(☞下記)の設定が「自作」応答になります。

応答メッセージを設定する

◎ ▶ 「留守電設定」を選んで ◎ ▶ 「応答メッセージ」を選んで ◎

■ 途中でやめるとき:◎

■ 録音した応答メッセージの内容を聞くときは

◎ ▶ 「留守電設定」を選んで ◎

▶ 「応答メッセージ」を選んで ◎ ▶ 「確認」を選んで ◎

応答メッセージが再生されます。

録音した応答メッセージを消すときは

▶「留守電設定」を選んで

▶「応答メッセージ」を選んで ▶「消去」を選んで (2回)

録音した応答メッセージの内容を変えるときは

あらためて録音してください。先に録音されていた内容は消えます。

携帯電話へおトクにかける

携帯電話へ電話をかけるとき、番号の前に「事業者識別番号」（例：NTT東日本0036、NTT西日本0039など）をつけてダイヤルすることにより、事業者が設定した通話料を選ぶことができます。
利用者は各社の電話料金を比べて、安い料金を選ぶことができます。携帯電話への通話料金がおトクになるサービスとして、各社が実施しています。※

※通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。

事業者識別番号を登録する（携帯とくとくダイヤル機能）

下記の設定で事業者を選ぶと、自動的に「事業者識別番号」をつけて発信することができます。
工場出荷時は「解除」になっています。

「NTT東日本」「NTT西日本」「解除」を選んだとき：

「その他事業者」を選んだとき：

事業者番号を入力（最大6ケタ）

■ 途中でやめるとき：

■ 一時的に携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは
解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

IP電話をご利用の方へ

IP電話と本サービスを実施している電話会社の料金を比較してご利用ください。IP電話会社によっては、お安くならない場合があります。IP電話でこの機能をご利用になるときは、「IP電話の利用設定をする」(☞63ページ)の機能を「設定」にしてください。

▶「NTT東日本」「NTT西日本」「その他事業者」「解除」 いずれかを選ぶ 下の段へ

お知らせ

- 「NTT東日本」「NTT西日本」「その他事業者」のいずれかに設定していると、親機のディスプレイに が表示されます。
- NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

携帯とくとくダイヤルの対象番号を追加する

携帯とくとくダイヤル機能の利用対象となる電話番号の頭4ケタを追加で登録したり、消去することができます。番号を追加するときは、新たに登録してください。番号は最大30件まで登録できます。
あらかじめ登録されている番号は、「0801」から「0809」までの9件と、「0901」から「0909」までの9件の、合計18件です。

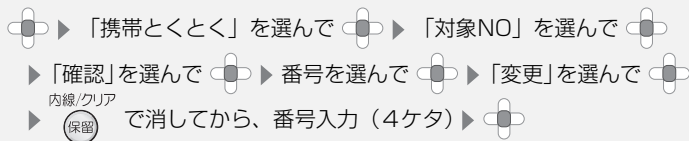
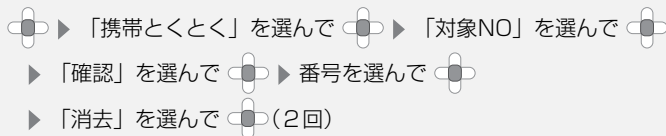
▶ **「携帯とくとく」を選んで** ▶ **「対象NO」を選んで** ▶ **「登録」を選んで** ▶ **番号入力（4ケタ）** ▶

■ 途中でやめるとき：

■ 登録した対象番号を変更するには

▶「携帯とくとく」を選んで ▶「対象NO」を選んで ▶「確認」を選んで ▶ 番号を選んで ▶「変更」を選んで ▶ 内線/クリア 保留 で消してから、番号入力（4ケタ）▶

■ 登録した対象番号を消去するには

▶「携帯とくとく」を選んで ▶「対象NO」を選んで ▶「確認」を選んで ▶ 番号を選んで ▶「消去」を選んで （2回）

IP電話の利用設定をする

IP電話をご利用の方が携帯とくとくダイヤルをご利用になるには、携帯電話に発信するときだけ、自動的にNTTなどの一般回線で発信するための設定が必要です（通常の発信はIP電話を利用して行われます）。IP電話機能を解除して、一般回線を選択するのに必要な番号（加入電話選択番号）を登録できます。
工場出荷時は「解除」になっています。IP電話をご利用でない方は、「解除」のままでお使いください。

▶「携帯とくとく」を選んで ▶「IP電話設定」を選んで

▶ 「解除」「設定」いずれかを選ぶ

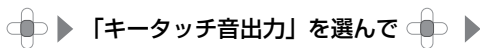
▶ 「解除」を選んだとき：

「設定」を選んだとき：
▶ 解除番号を入力（最大6ケタ）▶

■ 途中でやめるとき：

子機をもっと便利に使う

キータッチ音出力

子機のボタンやマルチファンクションキーを押したときの「ピッ」という音の有無を設定することができます。

液晶画面（LCD）コントラストの調整

液晶画面の表示の濃さをお好みに合わせて16段階に調整できます。

回線調整

ISDN（INSネット64）、ADSL、IP電話などをご利用の場合は、電話の音量が大きくなりすぎて聞こえにくくなったり、音が響いて（ハウリングして）聞こえたりすることがあります。こんなときは「小さく」に設定すると、子機での外線通話の送受話音量を小さくすることができます。

WIFI BAND（ワイファイ バンド）

他の電化製品（無線LAN機器など）の電波干渉などによって、通話に雑音が入るときは、設定を変更してお使いください。

■ 途中でやめるとき：

はじめは、「設定」になっています。

「解除」「設定」いずれかを選んで

「LCDコントラスト」を選んで ▶ で調整する ▶

はじめは「通常」になっています。

「通常」
「大きく」いずれかを選んで
「小さく」

はじめは「BAND6」になっています。

「BAND1」
「BAND6」　いずれかを選んで
「BAND11」

外出先から用件を聞く（リモート操作）

録音された要件を外出先から聞いたり、消したりすることができます。

暗証番号を登録する

▶「留守電設定」を選んで ▶「暗証番号」を選んで

■ 途中でやめるとき：

■ 登録した暗証番号を消すときは

暗証番号の入力画面で 内線/クリア（保留） を押してすべての数字を消したあと（表示を「＊＊＊」から「＿ ＿ ＿」に）、を押します。

外出先からリモート操作する

自宅に電話をかける ▶ 応答メッセージが聞こえている間に[＃] ▶ 暗証番号を入力 ▶ [＃]

■ 用件を聞くときは

未再生の録音があるときは、その録音のみ再生し、すべての録音が再生済みのときは1件目から再生します。

■ 再生中や停止中にできること

用件を聞く： 停止中に[１][＃]	**用件を聞き直す：** 再生中に[３][＃]
１件前の用件を聞く： 再生中に[３][３][＃]	**次の用件を聞く：** 再生中に[４][＃]
止める： 再生中に[５][＃]	**再生中の録音を消す：** 再生中に[０][＃]
再生中の用件の電話番号と日時を再生する： 再生中に[１][＃]	
留守を設定／解除する： 再生／停止中に[２][＃]	

リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

▶ 暗証番号を入力（3ケタ）▶

■ **暗証番号を変えるとき・忘れたときは**
あらためて登録します。

▶ リモート操作番号を入力 ▶ リモート操作が終わったら電話を切る

■ **トールセーバに設定したときは**
着信音が3回鳴ってもつながらないときは、未再生の録音がないことがわかります。4回目の着信音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません（☞54～55ページ）。

お知らせ

- 暗証番号が偶然合って盗聴されることもありますので、機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- 暗証番号を入力するときは、8秒以上操作をしないと電話が切れます。また、暗証番号を間違えると、エラーとなり「ピピピピ」と聞こえます。2度目のエラーで電話が切れます。
- リモート操作中は、20秒以上操作をしないと電話が切れます。

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。
サービス利用設定は「設定」になっています。

[ナンバー・ディスプレイを利用するには]

1 NTTと契約する（有料）
このサービスのご利用には、**NTTとのご契約が必要です。**

▼

2 NTTの工事終了後にサービスが利用できます。
工事日数については、下記NTT窓口にお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイサービス、ネーム・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口

TEL：局番なしの **116** **（通話料金無料）**

受付時間　午前9時～午後9時
　　　　　土・日・祝も受付（年末・年始は除く）

ナンバー・ディスプレイのサービス利用設定

子機を取る ▶ ◉ ▶ 「NOディスプレイ」を選んで ◉

▶ 「サービス利用」を選んで ◉

▶ 「設定」「解除」のいずれかを選んで ◉

電話がかかってきたときの子機のディスプレイ表示	
表示	着信情報
電話番号	番号を通知している相手先から
電話番号・名前	電話帳に登録されている相手先から
-非通知-	番号を通知していない相手先から
-表示圏外-	番号通知ができない地域や回線から
-公衆電話-	公衆電話から
-受信エラー-	番号情報を正しく受信できなかった状態
(((着信)))	NTTから相手の電話番号データを受信している状態

[キャッチホン・ディスプレイをご利用のときは]

キャッチホン･ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してから、キャッチホンにでることができます。くわしくは、86ページをご覧ください。

[ネーム・ディスプレイをご利用のときは]

ネーム･ディスプレイを契約（有料）すると、通話をかけてきた方の名前や会社名をディスプレイに表示させることができます。くわしくは、NTTへお問い合わせください。

お知らせ

●構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、「サービス利用設定」を「解除」にしてください。
●ISDN回線でお使いになるときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をお使いください。
●ナンバー･ディスプレイを開始後に、サービス利用設定を「解除」にしていると、電話がかかってきたとき、はじめに短い着信音が5～6回鳴ります。このときに電話に出ると切れますので、通常の着信音が鳴ってから、電話に出てください。
●ナンバー･ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。くわしくはNTTへお問い合わせください。

着信記録を使って電話をかける

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってくると、相手の方の電話番号や着信した日時などが最大40件まで記録されます（着信記録）。40件を超えると古い着信記録から消去されます。
着信記録を使って、かけてきた相手の方に電話をかけることができます。

子機で着信記録を使って電話をかける

子機を取る ▶ （2回）▶ 電話をかけたい着信記録を選んで ▶

・ で１件古い着信記録、 で１件新しい着信記録を表示します。

■ 途中でやめるとき：

■ 着信記録を1件ずつ消すときは

（2回）▶ 消したい着信記録を選んで

▶ 「消去」を選んで （2回）

■ 着信記録をすべて消すときは

（2回）▶ ▶ 「全消去」を選んで （2回）

**通話が終わったら 、
または子機を戻す**

・再ダイヤルが１件もないときは を１回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま２回目を押すと着信記録を表示します。

■ **着信記録を電話帳に登録するときは**

（2回）▶ 登録したい着信記録を で選んで

▶ 「電話帳へ登録」を選んで

▶ 名前と第２番号を入力して電話帳に登録（☞46〜47ページ）

電話帳に登録している相手の着信音を変える

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってきたとき、「電話帳に登録されている方からの電話」の着信音を変えることができます（着信鳴り分け）。
はじめは解除されています。

着信鳴り分けを設定する

鳴り分け用として設定できる着信音は、「子機の着信音の種類を変える」（☞30〜31ページ）で設定できるものと同じです。

子機を取る ▶ ▶ 「NOディスプレイ」を選んで ▶

■ 途中でやめるとき：

■ 着信鳴り分けを解除するときは
着信音を選ぶときに「ピピッ」と鳴るまで で選び、 を押します。

「着信鳴り分け」を選んで ▶ で着信音を選んで

●かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。

非通知・公衆電話・表示圏外からの電話を受けない

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

「非通知の電話」「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」に対して、着信音を鳴らさずにお断りのメッセージを流すことができます。
はじめは設定されていません。

お断りを設定する

子機を取る ▶ ◎ ▶ 「NOディスプレイ」を選んで ◎ ▶

・「公衆お断り」「圏外お断り」を設定すると、公衆電話や表示圏外からの電話には、「この電話は、お受けすることができません」と3回流れて電話が切れます。
・「非通知お断り」を設定すると、非通知の電話には、「おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、番号を通知しておかけ直しください」と3回流れて電話が切れます。

途中でやめるとき：☎

お断りを解除するときは

子機を取る ▶ ◎ ▶ 「NOディスプレイ」を選んで ◎

▶ 「非通知お断り」「公衆お断り」「圏外お断り」 いずれかを選んで ◎ ▶ 「解除」を選んで ◎

「非通知お断り」
「公衆お断り」　いずれかを選んで ▶ 「設定」を選んで
「圏外お断り」

・「迷惑お断り」（☞78～81ページ）によるお断りの場合は、「非通知」「公衆電話」「表示圏外」からの電話には、「この電話はお受けすることができません」と3回流れて電話が切れます。

お知らせ

●いずれかのお断りに設定すると、親機のディスプレイに お断り が表示されます。
●お断り応答の対象になっている相手先からの着信は、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。

特定の番号の電話を受けない

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として30件まで登録することができます。
登録した相手先から電話がかかってくると、こちら側の着信音を鳴らさずに、「この電話は、お受けすることができません」と3回流れて電話が切れます。

お断りしたい番号を登録する

子機を取る ▶ ▶ 「NOディスプレイ」を選んで ▶ 「特定NOお断り」を選んで ▶

お断りを設定する

子機を取る ▶ ▶ 「NOディスプレイ」を選んで ▶ 「特定NOお断り」を選んで ▶

■ **途中でやめるとき：**

■ **登録したお断り番号を消去・変更するときは**

子機を取る ▶ ▶ 「NOディスプレイ」を選んで
▶ 「特定NOお断り」を選んで ▶ 「対象者リスト」を選んで
▶ 「確認」を選んで ▶ 番号を選んで

▶ 消去するときは、「消去」を選んで (2回)
変更するときは、「変更」を選んで ▶ 番号を修正して

「迷惑お断り」（☞78～81ページ）の登録先から電話がかかってきたときも、同様にこちら側の着信音を鳴らさずに、「この電話はお受けすることができません」と3回流れて電話が切れます。

■ お断りを解除するときは

子機を取る ▶ ▶ 「NOディスプレイ」を選んで

▶ 「特定NOお断り」を選んで ▶ 「設定選択」を選んで

▶ 「解除」を選んで

お知らせ

- お断り番号を登録すると、親機のディスプレイに お断り が表示されます。
- お断り応答の対象になっている相手先からの着信は、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。
- お断り番号と迷惑電話番号（☞78～81ページ）とは、別々に登録されます。

かかってきた電話をお断りする

セールスや勧誘などの迷惑電話を受けたとき、通話中に来客があったようにチャイムを鳴らし、電話を切りやすくすることができます（チャイムでお断り）。また、無言電話などには、通話中にお断りメッセージを流して電話を切ることができます（メッセージでお断り）。

「チャイムでお断り」を設定する

通話中に お断り ◯

・ナンバー・ディスプレイ契約時に、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号が迷惑電話番号として登録されます（「チャイム自動登録」（☞79ページ）の設定が必要です）。また、非通知・公衆電話・表示圏外（☞74～75ページ）からの着信のときは、それぞれに対応した迷惑お断りが2時間だけ設定されます。

■ まちがえて操作してしまったときは

途中で止めることはできません。チャイム自動登録が設定されていると、通話終了後に迷惑電話番号として登録されますので、番号を消去してください。

■ 迷惑電話番号を消去する

▶「NOディスプレイ」を選んで ▶「迷惑電話」を選んで ▶「対象者リスト」を選んで ▶ 番号を選んで (2回)

■ まちがえて非通知・公衆電話・表示圏外お断りが設定されてしまったときは

お断りを解除してください（☞74ページ）。

■「チャイム自動登録」の設定をするには

「チャイム自動登録」とは、「チャイムでお断り」を行ったあと、自動的に相手の番号を迷惑電話番号として登録する機能です。

▶「NOディスプレイ」を選んで
▶「迷惑電話」を選んで ▶「チャイム自動登録」を選んで

▶ 機能を使用するときは「設定」を選んで
機能を解除するときは「解除」を選んで

「メッセージでお断り」を設定する

通話中に

・設定すると、「この電話はお受けすることができません」と3回流れ、自動的に電話が切れます。
・ナンバー・ディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号が迷惑電話番号として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外（☞74～75ページ）からの着信のときは、それぞれに対応した迷惑お断りが2時間だけ設定されます。

■ まちがえて操作してしまったときは
相手の方にお断りメッセージが流れている間に ◐ または 発信/ を押してください。

■ まちがえて非通知・公衆電話・表示圏外お断りが設定されてしまったときは
お断りを解除してください（☞74ページ）。

■ 迷惑電話番号を消去するときは（☞78ページ）

お知らせ

- 迷惑電話番号が登録されているときは、親機のディスプレイに 迷惑電話 が表示されます。
- ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、自動的にお断りを設定することはできません。
- 迷惑電話番号の登録は、最大30件です。
- 電話をかけたときは、「メッセージでお断り」を設定することはできません。また、「チャイムでお断り」を行っても、迷惑電話番号の登録はされません。
- お断り番号（☞76～77ページ）と迷惑電話番号とは、別々に登録されます。

登録した番号からの電話のみ受ける（選んで着信）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

設定した時間帯に、あらかじめ登録した相手先（５件）からのみ電話を受けられるように設定できます（限定着信機能）。

着信させる番号を登録する（番号を入力して登録）

▶「NOディスプレイ」を選んで ▶「限定着信」を選んで

▶ 番号を入力（最大20ケタ）▶

着信させる番号を登録する（電話帳から選んで登録）

で相手先を選ぶ ▶ 第２番号の場合は で番号を選ぶ ▶

・番号の登録は最大５件です。

■ 途中でやめるとき：

■ 登録した番号を変更するには

▶「NOディスプレイ」を選んで ▶「限定着信」を選んで

▶「対象者リスト」を選んで ▶「確認」を選んで

▶ 番号を選んで ▶「変更」を選んで ▶ 番号を修正 ▶

登録した番号からの電話のみ受ける（選んで着信）

登録した相手先以外からの電話がかかってくると、こちら側の着信音を鳴らさずに、相手先へ留守応答メッセージを流すことができます（選んで着信設定）。選んで着信機能（限定着信機能）を利用するには、まず番号を登録し、そのあと機能を設定します（はじめは「解除」になっています）。

▶「限定NOへ登録」を選んで（2回）

・番号を登録したあとは、「選んで着信機能を設定する」（☞84〜85ページ）の操作で機能を設定してください。

■ 登録した番号を消去するには

▶「NOディスプレイ」を選んで ▶「限定着信」を選んで ▶「対象者リスト」を選んで ▶「確認」を選んで ▶ 番号を選んで ▶「消去」を選んで（2回）

お知らせ

●選んで着信機能は、親機の日時登録が正しくないと正しく動作しません。親機の日時登録を確認（☞32ページ）してから設定してください。

登録した番号からの電話のみ受ける（選んで着信）

選んで着信機能を設定する際は、あらかじめ日時登録が必要です。
親機の時計を登録していないときは、選んで着信機能を設定することはできません。

選んで着信機能を設定する

▶「NOディスプレイ」を選んで ▶「限定着信」を選んで

▶ 開始時間・終了時間を入力（24時間制・1分単位）▶

・終了時間を開始時間より早い時間に設定すると、日をまたいで機能が働きます。

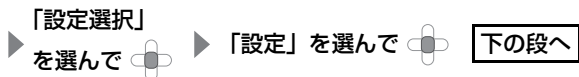
■ 途中でやめるとき：

■ 選んで着信機能を解除するには

選んで着信機能は、解除しないと毎日設定した時間に働きます。解除するときは、下記の操作をしてください。

▶「NOディスプレイ」を選んで ▶「限定着信」を選んで

▶「設定選択」を選んで ▶「解除」を選んで

「設定選択」を選んで ▶「設定」を選んで **下の段へ**

・開始時間と終了時間を同じにしたときは、つねに機能が働きます。

お知らせ

- 選んで着信機能を設定すると、子機のディスプレイに[限定]、親機のディスプレイに 限定着信 が表示されます。
- 各種のお断り（☞74～81ページ）が設定されているときは、お断りを優先し、お断りメッセージが流れます。

キャッチホンを利用する

キャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、電話でお話しをしているときでも､別の人からかかってきた電話に出ることができるNTTのサービスです。ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。くわしくはNTT窓口へお問い合わせください。

通話中に着信音が聞こえたら 文字切替/キャッチ ▶ **もとの通話に戻るときはもう一度** 文字切替/キャッチ

キャッチホン・ディスプレイの設定をする

キャッチホン・ディスプレイは、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができるNTTのサービスです。
ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。くわしくはNTT窓口へお問い合わせください。
キャッチホン・ディスプレイをご利用の時は、必ず「キャッチホンD利用」を「設定」にしてください。「解除」にしていると電話を受けられないことがあります（はじめは、「解除」になっています）。
また、ナンバー・ディスプレイの「サービス利用」が「設定」になっていることを確認してください（☞68ページ）。

 ▶ **「NOディスプレイ」を選んで** ▶ **「キャッチホンD利用」を選んで**

▶ **「解除」「設定」いずれかを選んで**

お知らせ

- キャッチホン・ディスプレイの表示の内容はナンバー・ディスプレイと同じですので、ナンバー・ディスプレイの表示例（☞69ページ）をご覧ください。
- キャッチホンでの通話中は、お断りボタンを押しても、お断りの機能は働きません。

操作ができなくなったときは

衝撃や過大な静電気を受けたとき、落雷などで電源電圧の異常が起きたとき、また誤った操作をしたときなど、操作を受け付けなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次の操作をお試しください。

親機の操作

電話機コードとACアダプターを抜く ▶ 約5分間そのままにしておく ▶ ACアダプターと電話機コードをつなぐ

・この操作をすると、日時登録が消えます。あらためて子機から登録してください。

子機の操作

充電池のコネクターをはずして、もう一度、取り付ける

・この操作をすると、日時登録が消えます。操作後にあらためて登録してください。

また、子機が正しく動作しないときは、登録初期化をすると正常に戻ることもあります。ただし、登録初期化をすると、子機の登録内容は下記のようになりますので、ご注意ください。

●電話帳：初期設定の2件（☞46ページ）に戻ります。
●再ダイヤル・着信記録：すべて消えます。
●受話音量・スピーカー音量：初期状態に戻ります。

子機の日時表示、着信音量、着信音色、キータッチ音、着信鳴り分け、使用者表示、LCDコントラストは、初期設定の状態（☞98〜101ページ）に戻ります。

子機の登録内容をすべて消して、お買いあげ時の状態にする

 ▶ **「システム設定」を選んで**

▶ **「登録初期化」を選んで** （2回）

■ **途中でやめるとき**：

こんなときは

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。
それでも具合の悪いときは、「保証とアフターサービス」（☞102〜103ページ）をごらんのうえ修理を依頼してください。

電話機能

問題と解決法	参照先
子機が動作しない	
・親機のACアダプターを正しく接続してください。	22
・子機の充電池のコネクターを正しく接続してください。	24
・子機を充電してください。	25
子機で電話がかけられない	
・親機の電話機コードを正しく接続してください。	22
・回線種別を正しく合わせてください。	22~23
・光回線やADSL、ISDNをお使いのときは、それぞれの接続機器を正しく接続してください。	92~95
・他の子機（JD-S10CWをお使いのとき）が使用されていると、電話はできません。終わるまでお待ちください。	−
・子機が親機から離れすぎないようにしてください。	15
・電波干渉の発生しやすい所では使用しないでください。	16
子機で電話が受けられない	
・ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、「サービス利用」の設定を「設定」にしてください。「解除」にしていると、電話がかかってきたとき、はじめに短い着信音が5〜6回鳴りますが、このとき電話に出ると切れてしまいます。	68
子機の着信音が鳴らない	
・子機が親機から離れすぎないようにしてください。	15
・着信音量の設定が「切」になっていないか確かめてください。	28~29
・電波干渉の発生しやすい所では使用しないでください。	16
・携帯電話の充電器の近くでは使用しないでください。	−
・「非通知／公衆電話／表示圏外お断り」「特定番号お断り」「迷惑電話お断り」「選んで着信」が設定されていないか確かめてください。	74~85

電話機能

問題と解決法	参照先
子機が呼び出せない ・子機が離れすぎないようにしてください。 ・親機のアンテナをまっすぐに立ててください。 ・電波干渉の発生しやすい所では使用しないでください。 ・子機が使用されていると、呼び出しはできません。終わるまでお待ちください。	15 － 16 －
子機で通話中に、声が大きく聞こえて話しづらい ・ISDN やADSL をご利用になっていると、声が大きく聞こえることがあります。「回線調整」の設定を「小さく」にしてください。	64~65

留守番機能

問題と解決法	参照先
留守設定できない・用件を録音できない ・不要な録音を消去してください。録音できる時間は、相手の方の用件は1件につき3分間です。すべての録音を合わせて、最大約10分間、または59件まで録音できます。	56~57

ナンバー・ディスプレイ機能

問題と解決法	参照先
相手の方の電話番号が表示されない ・ナンバー・ディスプレイに契約しているか確かめてください。 ・「サービス利用」の設定を「設定」にしてください。 ・ファクシミリやホームテレホン、PBXにはつながないでください。	68 68 －
着信鳴り分けしない ・鳴り分け用の着信音が、通常着信音と同じ音色になっていないか確かめてください。	72~73

エラー音が聞こえたとき

エラー音とその意味	参照先
「ピピピピ」	
・充電池の容量が少なくなっています。子機を充電してください。	25
・他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすい所では使用しないでください。	16
・子機の使用範囲から外れています。子機を使用範囲に戻してください。	15
「ピピッピピッ…」	
・充電池の容量が少なくなっています。子機を充電してください。約1分後に電話は切れますので、通話をやめて親機または充電器に戻してください。 長時間充電しても、すぐに容量がなくなるときは、新しい充電池と交換してください。	25
「ピッピッ……ピーピー」	
・子機の使用範囲から外れています。20秒後に電話は切れますので、すみやかに使用範囲内に戻ってください。	15
・親機のACアダプターや、充電器の電源コードが電源から外れているなどで、電源が入っていません。正しく接続してください。通話しているときは切れてしまいます。	22
「ピーピー」	
・他の子機（JD-S10CWをお使いのとき）が使用中です。終わるまでお待ちください。	－
・親機のACアダプターや、充電器の電源コードが電源から外れているなどで、電源が入っていません。正しく接続してください。	22
・親機と子機が離れすぎています。使用範囲内に戻ってください。	15
・他の電化製品などの電波が干渉しています。電波干渉の発生しやすい所では使用しないでください。	16

その他

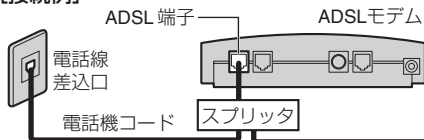
問題と解決法	参照先
子機の液晶画面が見にくい ・「LCD コントラスト」の設定で、見やすい濃度に調節してください。	64~65
電話の音が大きすぎる・響いて聞こえる（ハウリングする） ・回線の状態によるものです。「回線調整」の設定を変更してください。	64~65

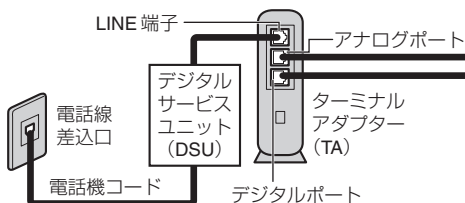
停電になったとき

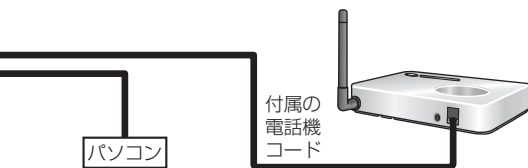
停電したときや親機のACアダプターが外れたときは、親機・子機とも使用できません。通話していた場合は切れてしまいます。

・5分間以上停電すると、親機の日時登録が消えてしまいます。
※ 録音された内容は消えません。

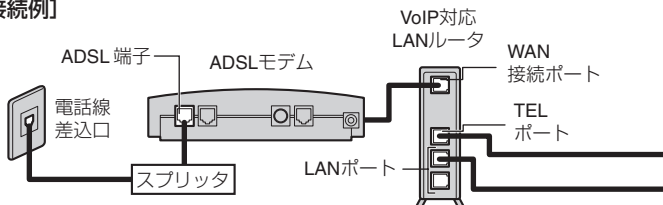
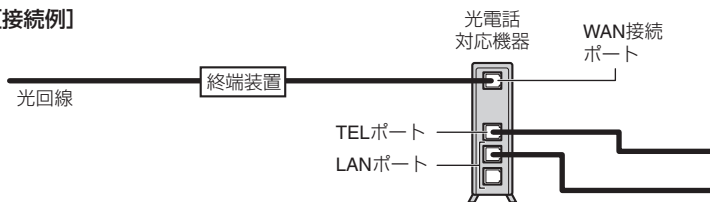
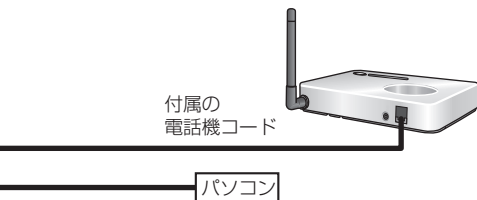
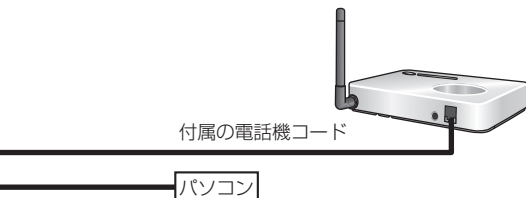
いろいろな接続

ADSL回線に接続するとき

ISDN回線に接続するとき

[接続例]：接続後は、回線種別を「トーン」に設定してください（☞ 22〜23ページ）。

■ **構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへ接続するときは**

- 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は工事が必要です。
- ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合がありますので、利用設定を「解除」にしてお使いください（☞ 68ページ）。

お知らせ

●ISDNに接続してナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。

IP電話をご利用のとき

光回線（光電話）をご利用のとき

お知らせ

- 必ず、ご契約の回線種別に設定してください（☞ 22〜23ページ）。0120（フリーダイヤル）などの電話がつながらない場合があります。
- ISDN、ADSLやIP電話をご利用のとき、電話の音量が大きくなりすぎる場合は「回線調整」の設定を変更してください（☞ 64〜65ページ）。
- 本機は IP 電話や光回線に接続してお使いになることを前提として設計したものではありませんので、動作を保証するものではありません。

電話機を移動する／お手入れする

電話機を移動するとき

親機からACアダプターと電話機コードの両方を５分以上取り外すと、日時の登録が消えてしまいます。ふたたび接続したあと、子機で日時登録をやり直してください（☞32〜33ページ）。※
５分以内に接続した場合は、登録は消えません。

※子機の日時登録は消えませんが、親機に登録を転送するため、もう一度登録してください。

お知らせ

●この電話機を使用できるのは日本国内のみです。海外では、接続できる電話機をそれぞれの国の法令で定めていますので、使用できません。

お手入れするとき

乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふきとり、乾いた布で仕上げてください。

●**お手入れにベンジン・シンナーなどの薬品類は使わないでください。**
変質・変色する場合があります。

●**油をささないでください。**
故障の原因となります。

子機機能リスト

機能名	機能の内容
用件再生	録音されている内容を再生できます。
留守電設定	
留守設定切替	留守番電話を解除／設定できます。
応答メッセージ	応答メッセージの録音などができます。
留守応答回数	留守番応答するまでの着信音の回数を設定できます。
暗証番号	リモート操作用の暗証番号を登録できます。
着信音量	着信音の大きさを設定できます。
着信音色	着信音の種類を設定できます。
キータッチ音出力	ボタン操作音の解除／設定ができます。
NOディスプレイ	
サービス利用	ナンバー･ディスプレイ機能の解除／設定ができます。
キャッチホンD利用	キャッチホン･ディスプレイ機能の解除／設定ができます。
非通知お断り	非通知お断り機能の解除／設定ができます。
公衆お断り	公衆電話お断り機能の解除／設定ができます。
圏外お断り	表示圏外お断り機能の解除／設定ができます。
特定NOお断り	
設定選択	特定番号お断り機能の設定／解除ができます。
対象者リスト	お断りする番号の登録などができます。
着信鳴り分け	着信鳴り分け機能の解除／設定ができます。

設定項目（下線部は初期設定）	参照ページ
(はじめは録音されていません)	56～57
解除／設定	54～55
確認／録音／変更／消去(はじめは録音されていません)	58～59
2回／4回／6回／8回／トールセーバ	54
(はじめは登録されていません)	66～67
大／中／小／切	28～29
「プルルル プルルル」ほか9種類	30～31
解除／設定	64～65
解除／設定	68
解除／設定	86
解除／設定	74～75
解除／設定	74～75
解除／設定	74～75
解除／設定	76～77
確認／登録（はじめは登録されていません）	76～77
「プルルル プルルル」ほか9種類の着信音／解除	72～73

（次ページにつづく）

機能名	機能の内容
迷惑電話	
チャイム自動登録	迷惑電話お断りをしたあと、自動的に迷惑電話番号として登録する機能の解除／設定ができます。
対象者リスト	迷惑電話番号として登録されている番号の確認／消去ができます。
限定着信	
設定選択	選んで着信機能の設定／解除ができます。
対象者リスト	着信させる番号の登録などができます。
携帯とくとく	
設定選択	携帯とくとくダイヤル機能の設定／解除ができます。
対象NO	利用対象となる電話番号の登録などができます。
IP電話設定	携帯とくとくダイヤルを利用するために、IP電話機能の設定／解除ができます。
システム設定	
日時登録	子機に日時を登録できます。
回線種別	電話回線の種類（回線種別）を設定できます。
回線調整	回線自体の音量を設定できます。
使用者表示	子機に使用者名を登録できます。
LCDコントラスト	子機ディスプレイのコントラストを調整できます。
WIFI BAND（ワイファイ バンド）	WIFI BANDの設定を変更できます。
登録初期化	子機に登録した内容をすべて初期化できます。

設定項目（下線部は初期設定）	参照ページ
解除／設定	79
（はじめは登録されていません）	78
解除／設定	84～85
確認／登録（はじめは登録されていません）	82～83
NTT東日本／NTT西日本／その他事業者／解除	60～61
確認／登録	62
解除／設定	63
（はじめは登録されていません）	32～33
自動／20PPS／トーン／10PPS	23
通常／大きく／小さく	64～65
（はじめは登録されていません）	32～33
9段階目（全16段階）	64～65
BAND1／BAND6／BAND11	64～65
（なし）	87

保証とアフターサービス（よくお読みください）

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。ご了承ください。
この製品の故障やアフターサービスについては、NTTにお問い合わせにならないでください。

修理を依頼されるときは　持込修理

1　「こんなときは」（☞88～91ページ）を調べてください。
2　それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源コードのプラグを抜いてください。
3　お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証書（裏表紙、116～117ページ）

● **保証期間…お買いあげの日から1年間です。**
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間中

● 修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

●故障や電池消耗等による損失についての補償は致しかねますのでご容赦ください。

愛情点検	長年ご使用の電話機の点検を！	
	このような症状はありませんか？	●ACアダプタやコードが異常に熱い ●コゲくさい臭いがする ●ACアダプタやコードに深いキズや変形がある ●その他の異常や故障がある

ご使用中止　故障や事故防止のため、ACアダプターをコンセントから抜き、お客様ご相談窓口にご相談ください。

補修用性能部品の保有期間

- **当社はコードレス電話機の補修用性能部品を製品の製造打切後、7年保有しています。**
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

お客様ご相談窓口

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■ 受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0570-02-4649
当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
（注）PHS・IP 電話からは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ PHS／IP電話でのご利用は･･･	（一般電話）	043-299-3863	06-6792-5511
○ FAXを送信される場合は･････	（FAX）	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄･奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理 および 部品購入のご相談 は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。**

■ 受付時間　＊月曜～土曜：午前 9 時～午後 5 時 30 分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は…　＊月曜～金曜：午前 9 時～午後 5 時 30 分（祝日など弊社休日を除く）

担当地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたま サービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京 テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜 テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂1170-1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪 テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神 サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

0120-663-700 ○フリーダイヤルがご利用いただけない場合は、下の番号におかけください。

東日本相談室	TEL 043-351-1822	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06-6792-1583	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

■受付時間

○月曜～土曜：午前9時～午後6時　○日曜・祝日：午前10時～午後5時(年末年始を除く)

○ FAX送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

○所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。
(2006.2)

区点コード一覧表

４桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
025										
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
030										
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
049										
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
059										
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
079										
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
					ーーあーー					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
					ーーいーー					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
					ーーうーー					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
					ーーえーー					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
					ーーおーー					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
					ーーかーー					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
					ーーきーー					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	

区点1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ーーくーー									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	ーーけーー									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	ーーこーー									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	ーーさーー									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕

区点1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	ーーしーー									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	ーーすーー									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	ーーせーー									
320					世	瀬	畝	是	凄	制

区点1~3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	ーーそーー									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	ーーたーー									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ーーちーー									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	ーーつーー									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ーーてーー										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
ーーとーー										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
ーーなーー										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
ーーにーー										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ーーぬ〜のーー										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
ーーはーー										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ーーひーー										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ーーふーー										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
ーーへーー										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ーーほーー										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ーーまーー										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
ーーみーー										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441		蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠
ーーむーー										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
ーーめーー										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
ーーもーー										
444							摸	模	茂	妄

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
ーーやーー										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ーーゆーー										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
ーーよーー										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ーーらーー										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
ーーりーー										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ーーる〜れーー										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ーーろーー										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
ーーわーー										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。ご了承ください。

項　目	親　機	子　機	充 電 器
寸　法	148.8（幅）× 105.0（奥行）× 27.0（高さ）mm（アンテナ含まず）	44.6（幅）× 29.4（奥行）× 158.4（高さ）mm	71.0（幅）× 90.0（奥行）× 26.7（高さ）mm
質　量	約 220 g（ACアダプター含まず）	約 150 g（充電池含む）	約124g
消費電力（100V 60Hz AC）	外線通話中：約 1.7 W 急速充電中：約 2.8 W 待機時　　：約 2.6 W		急速充電中：約1.0W 待機時　　：約0.9W
直流抵抗	289 Ω	——	——
静電容量	0.82 μF	——	——
充電完了時間	——	約10時間	——
使用可能時間（充電完了時）	——	待受時（※）：約200時間 通話時　　　：約6時間	——
電　源	（ACアダプター） 入力：AC 100 V ±10% 50/60Hz 出力：DC 6 V、700 mA	（ニッケル水素電池） DC 3.6 V、600 mAh	（ACアダプター） 入力： AC 100V±10% 50/60Hz
ダイヤル形式	——	押しボタン式 パルスダイヤル／ 押しボタン式 トーンダイヤル	——
選択信号種別	DP信号（10PPS/20PPS）／PB信号（DTMF）		——

※ 待受時とは、充電完了後、子機を親機または充電器に置かずに、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信音が鳴ったりすると待受時の使用可能時間は短くなります。

※ 充電器はJD-S10CWのみ付属しています。

別売品

この製品を正しく動作させるためにも、別売品は指定のものをお使いください。
価格などは予告なく変更することがありますのでご了承ください。また、希望小売価格は2006年2月現在のものです。

充電池（ニッケル水素電池）[シャープエンジニアリング（株）扱い]

形　名	部品コード	流通コード	希望小売価格
A-002	UBATMA002AFZZ	142 932 0070	1,800 円 （税抜価格1,715円）

延長コード（モジュラープラグつき）
[シャープエンジニアリング（株）扱い]

種　類	部品コード	流通コード	希望小売価格
5m（2芯） （白）	QCNWG0121AFSA	142 512 0331	535 円 （税抜価格510円）
10m（2芯） （白）	QCNWG0122AFSA	142 512 0332	819 円 （税抜価格780円）

さくいん

【数字・英字】

【あ行】

【か行】

【さ行】

【た行】

【な行】

【は行】

【ま行】

【や行】

【ら行】

●製品についてのお問い合わせは…

お客様相談センター　0120-663-700
フリーダイヤルがご利用いただけない場合は
東日本相談室　TEL **043-351-1822**　FAX **043-299-8280**
西日本相談室　TEL **06-6792-1583**　FAX **06-6792-5993**

《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時
日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

●ナンバー・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込みは…

NTT窓口
TEL：局番なしの　**116**　（通話料無料）
受付時間　午前９時～午後９時　土・日・祝も受付（年末年始を除く）

●修理のご相談は…

104～105ページに記載の『お客様ご相談窓口』をご参照ください。

●シャープホームページ（電話機・サポート・ステーション）

http://www.sharp.co.jp/support/tel/station/
「電話機・サポート・ステーション」では、Q&A情報や機種別情報など、役立つ情報を豊富に掲載しています。

インターネットをご利用の方は、上記ホームページをご活用ください。

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
通信システム事業本部 ＩＰ通信事業部　〒739-0192　東広島市八本松飯田2丁目13番１号

Printed in China
JD-S10CL/JD-S10CW　TINSJA187AFZZ